



事業シート（概要説明書）

様式1号

① 事業名	森林・林業振興施設管理業務
② 細事業名	林業総合センター管理運営業務

総合計画体系	章 03 元気創造都市	節	12 林業
担当部・課	産業振興部 農林課	事業開始年度	平成2年度
根拠法令			

③ 事業内容 (手段・手法など)	平成18年度より、指定管理者制度に移行 (施設運営業務) 木工教室指導、企画・イベント、機械運転・点検・修理等 (施設管理業務) 除草樹木管理、施設清掃、警備業務、センター管理業務、空調機器保守点検等			
④ 目的 (何のために)	各種森林、林業関係者の組織活動のための施設であり、森林に関わる情報発信、学習・交流などができる森林文化の総合的な拠点。			
⑤ 対象及び人数 (誰・何を対象に)	市民及び利用者・林業者の組織団体			
⑥ 現在の実施方法	指定管理制度による委託 ※指定管理先は右記詳細のとおり (詳細:大阪府森林組合)			
⑦ コスト	平成23年度予算	直接経費(A)の内訳		
	直接経費(A)	12,491 千円	管理運営業務委託料 11,651千円 土地借上料 670千円 備品購入費 170千円	
	人件費(B) ※(C)+(E)	826 千円	内 担当正職員:概算人件費(C) (H22決算平均給与8,260千円×従事職員数) 826 千円	従事職員数(D) 0.1 人
	総コスト (A)+(B)	13,317 千円	内 臨時職員他(嘱託・アルバイト)人件費(E) 0 千円	従事職員数(F) 0 人
⑧ 対象事業の抽出の視点 (選考優先順位)	<input type="checkbox"/> 廃止を視野に入れいている事業 <input type="checkbox"/> 類似事業や民間で実施しているサービスがある事業 <input type="checkbox"/> 見直しを検討している事業 <input type="checkbox"/> 市民協働・指定管理・委託などのアウトソーシングを行う余地の比較的大きな事業 <input checked="" type="checkbox"/> 積極的に市民の意見を取り入れたい事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業			
	財源内訳(収入) 国・府からの補助金等 0円 使用料・手数料 186千円 一般財源(市債含む) 13,131千円 その他 0円			

⑨ 目標 (目指すところ) ※より具体的に記入	市立林業総合センターの利用率アップ
⑩ 事業の現状	林業技術の向上、後継者の育成、林業者の組織する団体活動の促進や市民を対象に森林・林業にかかわる学習、交流を進める。
⑪ 目標と現状の差 (課題) ⑨-⑩	林業技術の向上、後継者の育成、市立林業センターの利用率アップ。
⑫ 解決策と論点 (⑪の課題の解決策と問題点)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">最終論点</div>
	<p>【解決策】</p> <p>①林業技術の向上、後継者の育成のための相談及び指導を行なう。</p> <p>②市民及び利用者の意見を取り入れ、そのニーズ分析をすることで利用率のアップにつなげる。</p> <p>【論点】</p> <p>①の解決策を実行するには、林業総合センターが、林業構造の改善その他の事業を行なうことにより、林業の発展と林業従事者の地位の向上に資するため設置されたものであるという基本理念に基づき、管理運営を行なうことが重要であり、そのためには、森林・林業に関する施策、制度体制についての新情報を林業従事者・後継者・林業者の組織する団体などに迅速に情報が提供できるように、また、これらの活動状況等が市民にもわかりやすく情報発信できるシステム作りが必要となる。</p> <p>更には、林業従事者・後継者・林業者の組織する団体などの施設活用状況を本能的に見直し、林業者自身が組織する唯一の団体であり、林業の様々なノウハウを蓄積している林業事業体である森林組合が管理運営業務の指定管理を行なっているメリットを活かし、その林業のノウハウを活用し、市民の財産である森林を次の世代にも引き継げる新たな森林・林業政策を市の実状に基づき構築していくことが必要となる。そして、それらの情報や政策を基にした継続的かつ効果的な事業推進を図る。</p> <p>②の解決策については、森林の環境教育を柱として森林組合の林業技術を活かした森林・林業にかかわる体験学習、交流といった活動面での展開が必要であり、今後は、これらの分野においても学校や各種施設及び組織団体と連携しながら、市広報・ホームページやブログ等の利用により、リアルタイムな情報提供の徹底とPRの手段を工夫するとともにニーズに即した施設活用策を検討し、利用促進を図る。</p>

様式2号

- 【設置目的】 林業の発展と林業従事者の地位向上に資するため。
 【名称】 河内長野市立林業総合センター
 【所在地】 河内長野市高向 1818 番地の 1
 【開館年月日】 平成2年9月1日
 【休館日】 12月28日～1月4日
 【施設の概要】 木造平屋建(多目的実技実習室・大会議室・小会議室
 展示資料室・事務室等 延床面積 536 m²)
 【管理体制】 指定管理者(大阪府森林組合)



正面玄関

○“木根館(きんこんかん)”は、木のぬくもりと出会える場所、河内長野市立林業総合センターの愛称です○

- ・林業後継者の育成を図るとともに、林業研究グループ等の研究・学習・会議の拠点として活用されている。また、併せて、森林に関わる情報発信を行ったり、学習・交流などができる森林文化の総合的な拠点として位置づけている。
- ・多目的実技実習室では、多数の木工体験メニューを用意し、学校・社会教育団体・自治会等に幅広く利用されており、どなたでも気軽に楽しく木工体験をしていただけるように木工指導員による丁寧な指導を行なっている。



“木根館”の看板

情報の発信

- ・人と森とのかかわりについて体験、学習できる場づくり
- ・木工クラフトを主体にした情報提供
- ・林業技術に関する情報集積

サポート

- ・地域林業振興のための研修および会議等の開催

イベント

- ・イベントの企画、運営および提案
- ・作品の展示および特別展の開催

学習・実習・交流・体験

- ・木工教室の開催
- ・多目的実技実習室を利用して創作活動ができる場づくり

○市立林業総合センター 使用日数・使用回数及び利用人数

年度	多目的実技実習室		大会議室		小会議室	
	使用日数	利用人数	使用回数	利用人数	使用回数	利用人数
18	194	1,207	87	990	20	141
19	176	850	86	1,060	18	116
20	225	1,109	61	874	42	366
21	258	1,298	84	943	72	369
22	269	1,592	129	1,923	53	233

※大・小会議室の使用については(森林組合使用分・使用料免除分)を含む。

多目的実技実習室



木工室を利用した創作活動

大会議室



地域林業振興の研修・会議

様式2号

展示資料室



地元材等の地域林産物
およびクラフト品の展示

小会議室



地域の会合や作品の展示会等に利用

○他市類似施設との利用料金比較（府下市町村に同様の施設はない）

河内長野市

（利用料金：円）

区分	面積 収容人数	午前	午後	全日
		9時～12時	13時～17時	9時～17時
大会議室	81㎡ 60人	1,000	1,300	1,600
小会議室	19㎡ 15人	300	400	500
多目的実技実習室	115㎡ 36人	中学生以上 200 小学生 100		
展示資料室	86㎡	1,000	1,200	1,500

京丹後市峰山林業総合センター（陶芸工房も併設された施設である）

京丹後市

（利用料金：円）

区分	面積 収容人数	午前	午後	夜間
		9時～12:30	12:30～17時	17時～22時
大会議室	120㎡ 100人	1,200	1,600	2,000
		800	1,000	1,200
中会議室	70㎡ 50人	800	1,100	1,400
		600	700	800
小会議室	38㎡ 30人	600	800	1,000
		400	500	600

上段：利用料
下段：冷暖房料

○市立林業総合センター 使用料集計

（使用料：円）

年度	多目的実技実習室	大会議室	小会議室	展示資料室
18	150,200	10,600	0	0
19	114,600	12,800	0	0
20	159,600	17,300	300	0
21	195,400	5,500	0	0
22	225,300	8,000	0	0